

中期計画「コンパス2023」 (2018年度～2023年度)

区分	項目名	主要施策・事項
大学・ 大学院	1. 21世紀型の工学教育の実践とその改革	①21世紀型の工学教育プログラムの推進
		②国際・教養・キャリア教育（科目）の整備、強化
		③大学院の拡充
		④学生支援プログラムの一層の充実
	2. 研究活動の戦略的な発展	①イノベーションの創発を推進する取組
		②研究分野における産官学等のパートナーシップの拡大
		③研究力の発信と社会的評価の増進
		④研究及び実験環境の充実
	3. キャンパス、教育・研究環境の整備	①新宿（Tokyo Urban Tech Tower）、八王子（Tokyo Big West Innovation Campus）の地の利・戦略性を生かした教育・研究環境の整備
②ダイバーシティに対応した学び、働きやすい環境		
③ITの活用などによる情報環境のグレードアップ		
④施設・設備の安全管理の徹底		
附属中高	1. 21世紀型のグローバル人材の育成	①21世紀型教育の強化・発展
		②「工学院」ならではの理数教育の充実
		③進学指導の強化
	2. キャンパス、教育環境の整備	①大学キャンパスを活用した中高教育の実施
②ITの活用などによる教育環境の向上		
学園全体	1. 経済社会のグローバル化への対応	①グローバル化に対応し活躍できる人材の育成
		②学園全体のネットワークを国際的にもより開かれたものに拡大
	2. パートナーシップ（社会連携）の拡充	①産官学連携
		②大学間連携
		③地域社会との連携
		④高大連携（国立高等専門学校を含む）
		⑤国際連携
		⑥校友、後援会ネットワークの拡充
	3. 社会貢献	①人材育成・研究を通じた社会貢献
		②地球社会、地域社会の問題解決への貢献
		③科学技術の普及・啓蒙活動、次世代人材の育成
		④開発途上国の工科系ものづくり人材の育成支援
	4. 優れたガバナンスと教職員一体による簡素で合理的・効率的な組織・事務運営	①新寄附行為（2016年12月改正）の下でのガバナンス体制の実行
		②組織の簡素化
		③事務の簡素・合理・標準化の推進
		④ITの活用による情報処理の高度化（IRの推進など）
	5. 将来への投資	①工学教育改革や教育・研究環境整備への積極的な投資
		②健全で堅固な財務基盤の確保
	6. 積極的な発信	①情報公開・提供、説明・発信
		②広いステークホルダーからの支持・サポートの獲得